

ロロ主宰・三浦直之氏による 架空の 一代記をつくろう Work Shop

空間や物を通して架空のキャラクターの思い出を妄想します。たとえば、寂れたベンチ窓に貼られた謎の張り紙、雨上がりの芝生……。場所には物語が埋まっています。埋まった物語を参加者のみなさんと掘り起こし、思い出話として共有します。そして、みなさんが集めてくれた思い出話の断片をつなぎあわせて、一代記をつくります。キャラクターとはいっ、どうやって生まれるのかを考えるワークショップです。



講師 三浦直之 (ロロ主宰・劇作家・演出家)

10月29日生まれ宮城県出身
2009年、主宰としてロロを立ち上げ、全作品の脚本・演出を担当する。自身の摂取してきた様々なカルチャーへの純粋な思いをパッチワークのように紡ぎ合わせ、様々な「出会い」の瞬間を物語化している。2015年より、高校生に捧げる「いつ高シリーズ」を始動。高校演劇のルールにのっとった60分の連作群像劇を上演し、戯曲の無料公開、高校生以下観劇・戯曲使用無料など、高校演劇の活性化を目指す。主な作品に「いつ高シリーズ vol.1〜vol.10」(15年〜)、「四角い2つのさみしい窓」(20年)、「BGM」(23年)などがある。そのほかNHK 脚本提供、歌詞提供、ワークショップ講師など、演劇の枠にとらわれず幅広く活動中。2016年『ハンサムな大悟』第60回岸田國士戯曲賞ノミネート。2019年脚本を担当したNHKよるドラマ『腐女子、うっかりゲイに告(コク)る。』で第16回コンフィデンスアワード・ドラマ賞脚本賞を受賞。

申込

2024年1月20日(土) 10:00より受付開始

講座名(ロロワークショップ)、氏名(フリガナ)、年齢、ご連絡先をせんだい演劇工房10-BOXあて下記の方法によりお知らせください。

- ウェブサイトの申込フォーム
- E-mail contact@gekito.jp
- 電話 022-782-7510 [10:00 ~ 21:00]

- 準備物・服装 -

動きやすい服装

(当日は屋外に出ることもありますので、防寒対策をお願いします)

